

国際ロータリー第 2650 地区
ロータリークラブ
会長エレクト・幹事の皆様



新年おめでとうございます。

本年、皆様にご多大のお世話になります。何卒よろしくお願い申し上げます。

早速でございますが、サンディエゴから皆様にご報告させていただきます。

現在、私は17日からアメリカ・サンディエゴにおきまして国際協議会に出席いたしております。ご承知のように、国際協議会は一週間の大変厳しいガバナーエレクト研修であり、次年度 RI テーマの発表をはじめ、会員増強、ロータリー財団、リーダーシップ、ロータリーモーメントなどロータリーの重要な課題について研修を受けております。

国際協議会では9つの本会議とその後の意見交換やワークショップがあり、本会議では RI 会長、会長エレクト、財団管理委員長はじめ RI の各シニアリーダー達より約1時間の講話が行われ、その後、そのテーマに基づいて日本のガバナーエレクトは2班に分かれて、RI 研修リーダーが進行役となり、ディスカッションによる研修が90分間行われます。

ディスカッションではガバナーエレクトとして、各テーマでの地区の課題は何か、そして、その解決方法は何か、クラブや地区の活性化策をどう考えているかなどについて厳しい質問が次々矢のように飛んで来ます。

そのような大変張りつめた雰囲気の中で、私は毎日研修に励んでおります。

さて、そのような中、本日の協議会2日目の第2回本会議におきまして、次年度 RI 会長のテーマがジョン・ジャーム RI 会長エレクトより発表されました。

次年度のテーマは、『**人類に奉仕するロータリー**』 **Rotary Serving Humanity** です。

大変シンプル (ジョン・ジャーム RI 会長エレクトの発言) な言葉ではありますが、そもそも「奉仕」はロータリーの設立当初からの目的であり、ロータリー運動の本質を表しております。そして、ロータリーにおける奉仕の意義は、ポール・ハリスが語った次の言葉に集約されているとジャーム会長は続けます。

「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません。」(ポール・ハリス)

このようなハリスのロータリーに対する奉仕の期待を継承し、このような奉仕を行っていく責務が我々にあるということで、次年度のテーマが決まりました。

次年度、この RI テーマの下、皆様と一緒に「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承し、会長・幹事様にとりまして、素晴らしい年度となるように努力して参りましょう。また、皆様にお目に掛る日を楽しみに致しております。

国際協議会にて
刀根莊兵衛